

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 調査対象 第6学年児童17名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語、算数ともに全国平均を下回りました。特に、国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」、算数では、「変化と関係」「データの活用」に課題が見られました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 友達と協力するのは楽しいと思いますか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 算数の勉強は大切だと思いますか。
- 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか。

課題が見られた項目

- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では教科学力について課題が見られました。本校では今後、次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- 話し合い・学び合いを通じ、児童相互に啓発するような授業の設定
 - ・みんなで意見を出し合い、試行錯誤（協働）できる課題を与える。
 - ・複数の考え方ができる、「開かれた発問」を投げかける。
 - ・話し合いの前に、適度な見通しや自分なりの考えを持たせる。
 - ・発問を絞り、子ども達の話合い・学び合いに預ける。
 - ・見取りをもとに意図的指名し、子どもの多様な考えを引き出す。
- 根拠を明確にして書く学習活動の重点的指導
 - ・自分の考えや思いを素直に書く。
 - ・自分の考えを、理由や根拠を明確にして書く。
 - ・抽象的なこと、概念的なことを自分の言葉にして書く。
 - ・「決められた時数で文章にまとめる」「キーワードを使って文にまとめる」など条件に合わせて書く力をつける。
- 適用とまとめの時間の確保
 - ・本時の学習を通して感じたことや考えたことを、自分の言葉でまとめる。
 - ・本時の学習を通して身につけたスキルを生かして、適用問題に取り組む。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
 - ・本校で配付している家庭学習の手引きを活用するとともに、学年に見合った家庭学習時間を確保する。
- 読書について
 - ・学校司書と連携し、家庭で読書をする習慣作りを推進するとともに、文章を読むことへの抵抗感をなくす。
- 家庭・地域社会との連携
 - ・地域行事に積極的に参加するとともに、高平生涯学習センターとも連携し、学校の様子を家庭や地域に積極的に発信する。